

令和5年度 第2回 砂川市小中一貫教育推進委員会 会議記録

○日 時 令和5年7月19日(水) 16:00～16:50 (所要時間=50分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 11人

【教育委員会】 5人

【事務局】 5人

○傍聴者 1人

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 砂川市小中一貫教育推進委員会副会長

3. 報告事項

- ・特別部会の経過報告

【議事の内容(要旨)】

- | | |
|-----|---|
| 副会長 | ・特別部会の経過報告
特別部会の経過報告は、各部会長からお願いします。小学校教育課程部会より報告をお願いします。 |
| 委員 | 小学校教育課程部会は、全5回の開催を予定しており、第1回目は、小学校教育課程部会として、5回の会議で協議すべきことは何かを確認しました。子どもの日常の中で授業がとても重要な位置を占めていることから、この1年間で学習スタンダードの改定版を作成し、令和6年度のスタート時点で全ての教員がその学習スタンダードを理解して4月1日を迎えることと、保護者版学習スタンダードを完成させて、保護者も「そういう授業が当たり前」という共通認識を持ってもらうという2点が今年度のゴールだと確認しました。第1回目は、各校の学習スタンダードの共通認識等を確認できましたので、第2回目は、「共通認識に温度差はないのか」「共通認識に評価基準の差はないのか」を確認します。今後、小学校教育課程部会では、実際に各学校で行われる日常の授業等を共有して、共通化を図ります。 |
| 副会長 | ただいま小学校教育課程部会より報告がありましたが、皆さんから質問や確認したいことはありませんか。
それでは、続きまして、小学校連携事業部会より報告をお願いします。 |

委員 小学校連携事業部会では、今日までに2回の会議を開催しましたが、9月1日に合同遠足があるため、どちらも合同遠足を中心に協議しました。詰め込んだ会議となりました。まず、1回目の会議では、今年度の事業である「合同遠足」と「5校交流会」を実施するための推進計画について確認しました。今年度から事業実施学年を拡大するため、年々会議が増えることも懸念されていたので、「オンラインの会議を入れてはどうか」ということで、2回目の会議をオンラインで開催しました。今年度は、「5校交流事業」に加えて「合同遠足」を実施し、担当校について今年度は北光小学校、来年度は中央小学校、7年度は空知太小学校という確認をしました。1回目の会議で、すでに「合同遠足」の大まかな実施要領が提案され、行先の第1候補は、子どもの国でしたが、熊に関わる懸念事項がありましたので、第2候補も設定するとして、1回目の会議を終えました。2回目のオンライン会議では、集合場所を空知太小学校、目的地を子どもの国、第2候補として北光公園と設定しました。この後、バスの手配や担当校での下見を終えて、8月の会議で内容を確認して実施する予定です。

副会長 ただいま、小学校連携事業部会より報告がありました。質問等ありませんか。それでは、次に、小中連携事業部会より報告をお願いします。

委員 小中連携事業部会では、今日までに2回の会議を開催しました。1回目は、概要として、メンバーの構成と本部会の目的と今年度課せられた内容を確認しました。2回目は、家庭学習チャレンジ週間に関する各学校の保護者アンケートの結果とそれに基づいて第2回目のチャレンジ週間をどうするか協議しました。保護者アンケートの自由記述の回答を見ると、4分の3程度の保護者は本取り組みに理解を示しており、家庭学習チャレンジ週間が子ども達にとって有意義なものであるという回答をいただいておりますが、4分の1程度の保護者からは「このチャレンジ週間の目的がよく分からない」「この取り組み自体が子どもに負担になっていた」とマイナス面の指摘もありました。まずは、「家庭学習・生活 記録シート」の様式について見直すべきか協議しましたが、今年度は、シートを変更せずに実施することになりました。また、「目的が分からない」「家庭学習の定義や意義についてどのようなものなのか」と意見があったので、家庭学習チャレンジ週間を周知するお便りに家庭学習の目的や部会の中で確認された定義などを盛り込みながら、保護者が「分からない」「周知が足りない」という部分の内容を補足して、第2回目以降のお便りを配付したいと考えています。それから、もう一つの柱である「中学校教員の乗り入れ授業」については、中学校教員の負担を減らす目的から、授業の実施形態を昨年度と変更し、対象の小学生が砂川中学校に行き、中学校教員の授業を受けるほか、可能な限り複数の小学校の日程や内容を合わせて実施することを確認しました。7月中旬に各学校の授業の要望を集約し、実施時期や内容を揃えて、どの学校とどの学校を結びつけて合同で実施するかを検討しながら、最終的な乗り入れ授業の回数を中学校と調整して進めたいと考えています。第2回目のチャレンジ週間も8月の下旬から始まりますので、各学校の協力をよろしくお願いいたします。

副会長 ただいま、小中連携事業部会より報告がありました。質問等ございませんか。

それでは、最後に施設建設部会より報告をお願いします。

委員

義務教育学校建設基本設計における平面計画等を検討するというので、1回目を開催しました。設計事務所から具体的な説明をいただきながら、出席した委員が気付いたところ、疑問点、「こうした方が良い」という実施設計の材料となる意見等を出しました。8月2日には教職員説明会があり、8月7日までパブリックコメントを実施して、その後、実施設計へ進むことになります。

質疑、意見等 特になし

4. 協議事項

- ・「砂川市小中一貫教育の目指す姿」の策定
- ・小学校における各教科の年間指導計画等の作成

【議事の内容（要旨）】

事務局

- ・「砂川市小中一貫教育の目指す姿」の策定

砂川市義務教育学校は、令和8年度の開校に向けて、昨年4月に「砂川市義務教育学校基本構想」を、さらに本年4月に「令和5年度砂川市小中一貫教育推進計画」を策定し、本委員会に設置された各部会を中心として取り組みを推進してまいりました。ただ、統合まで残すところ3年を切り、今後はさらに砂川市義務教育学校開校に向けた課題を明らかにし、小中一貫教育の取り組みを市内6校がベクトルを揃え、より一層前進させるとともに、ソフト面に関わる個別具体的な資料を1つずつ作成していくことが必要な段階に入りました。しかし、学校教育活動に関わる教育課程や行事計画等の各種基本計画は、一般的には、検証改善サイクルに基づき、各校の校長が示す「学校経営方針」を踏まえて作成されるところですが、ご承知の通り、令和8年4月までは新設校である砂川市義務教育学校には校長が不在であり、作成主体が明確となっておりません。そこで、砂川市義務教育学校の「ランドデザイン」及び「学校経営方針」は、本委員会で検討・協議を行い、委員の皆さんの知恵を借りながら作成を進めたいと思います。もちろん、「学校経営方針」や「ランドデザイン」は、これまで策定された「砂川市教育目標」や「砂川市義務教育学校基本構想」等を踏まえて作成されるものであり、そこに示されていることを整理したものが5ページのポンチ絵となっています。学校教育目標は、今後、記載にあります「教育の理念」等を踏まえて考えてまいりますが、今回、皆さんに聞きたいことは「育成を目指す資質・能力」の設定についてです。学習指導要領では、子ども達一人一人に「生きる力」を育成するために、各教科等において、「実際の社会や社会の中で生きて働く『知識及び技能』『未知の状況にも対応できる『思考力、判断力、表現力等』『学んだことを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力、人間力等』の3つの資質・能力を育成するとされています。砂川市義務教育学校では、この3つの資質・能力について、学習内容だけではなく、それを学ぶことで「何ができるようになるか」という視点から、学校教育目標やランドデザインの

下、9年間で目指す児童生徒像から考え、学校全体で育みたい資質・能力を目標として、各教科・領域のどの場面でどのような資質・能力を育むのかを体系的に整理したいと考えました。また、そのことによって、学校が子ども達にどのような力を育てているかということ保護者や地域住民に明確に示し、設定した資質・能力の達成度を学校評価アンケートで問い、検証・改善サイクルに基づくカリキュラム・マネジメントを実現する仕組みを構築したいと考えました。なお、「目指す子どもの姿」は、すでに「砂川市義務教育学校基本構想」に明記されており、そうした子どもの姿に迫るために、具体的にどのような力を育むのかに焦点化するものが「育成を目指す資質・能力」であり、「知」、「徳」、「体」、「郷土」の4点について、それぞれ設定することとします。ここが明確になることで、小中一貫教育を通じて子ども達に育む力が明確になり、また、今後作成する各種教育計画等の方向性がぶれないものになると考えています。

なお、「育成を目指す資質・能力」の設定にあたっては、『過去の本市の児童生徒の学力・体力・規範意識等に関わる各種調査数値』をエビデンスとし、本市児童生徒の実態を踏まえた内容にしたいと考えました。設定に向けた主なスケジュールは、議案4ページに記載のとおりですが、すでに『過去の「標準学力検査」「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」等の結果を踏まえた児童生徒の実態から見える「育成を目指す資質・能力(案)」』は、まとめ終えており、詳細は別添7のとおりとなっています。まず、「知」に関わりましては、全国学力・学習状況調査の質問紙調査から小中学生ともに「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の項目が高い数値となっていたり、問題の無回答率が比較的少なかったりする点が強みといえ、一方、毎年「記述式の問題」の正答率が低いことや、家庭学習を継続する「学びを調整する力」に弱みを抱えていると言えます。それらから、「粘り強さ・主体性・協働力・表現力・発信力・調整力」といった力の育成が必要であろうと考えました。なお、青色の文字は、子ども達の実態から見える「強み」から、オレンジの文字は、「弱み」から、それぞれ考えたものとなっております。「徳」と「郷土」に関しては、分析・考察を基に「夢を抱く力・参画力・思いやり・親切さ・自尊心・企画力」、「体」に関しては、「基本的な生活習慣・運動の楽しさ・運動の目的意識・達成感」といった力を伸ばしたり、高めたりする必要があると考えました。また、砂川市として、様々な取組を通して大切にしてきたことや、今後一層求められることに関わる『育成を目指す資質・能力』として「あいさつ・コミュニケーション能力・安全意識(危機管理能力)・国際理解能力・相互理解力(包受力)・情報処理能力・キャリア形成力」といったものも想定されます。今後は、4ページに記載のスケジュールのとおり、9月を目途に、子ども達の想いを聴くことをねらいとし、自分自身が学校での学習や様々な教育活動を通して「身につけていきたいと思う力」について、アンケートを取り、策定に反映させていこうと考えています。その後、10月を目途に、整理した「育成を目指す資質・能力(案)」について、「学校種間連携サポート事業」の準備校である砂川小学校と砂川中学校の教職員からも意見をもらい、再整理し、本委員会で「目指す姿」の素案を協議し、案としたいと考えました。このように、今年度中に育成を目指す資質・能力を明確にし、「目指す姿」の方向性を定め、次年度からの小中一貫教育の推進や、詳細な事柄の決定・作成につなげていきたいと考えます。

- 副会長 ただいまの説明に対して、質問や意見などありませんか。
それでは、説明のとおり「目指す姿」を策定していくことを確認します。
- 事務局 ・小学校における各教科の年間指導計画等の作成
今年度は、次年度から使用する小学校の教科書選定年度となっており、現在、選定作業が進められているところです。選定年度には、それぞれの学校で新たな教科書に対応する各教科の年間指導計画等の教育課程を作成していくこととなりますが、本市では、令和8年度の義務教育学校開校を見据え、市内小学校5校が共通した教育課程を基に学習指導を進め、スムーズに開校を迎える形をとりたいと考えました。そこで、小学校の各教科の年間指導計画等の作成にあたっては、次のとおり進めていきたいと考えます。まず、作成主体は、砂川市小中一貫教育推進委員会「小学校教育課程部会」が中核を担うこととしたいと考えます。本委員会で承認されましたら、次回の部会において作成について周知し、それを学校に落としていこうと思います。また、スケジュールについては記載のように想定しています。担当教科を10月から11月までに各校で割り振り、実際の作業は冬季休業中に進めていただく形を取ります。3月、本委員会で最終確認とし、その後、各学校にデータをお届けします。なお、データは小中一貫教育推進の観点から、砂川中学校にも提供することとします。
- 副会長 ただいまの説明に対して、質問や意見などありませんか。
- 委員 小学校の年間指導計画等教育課程を作成していく際に、学校現場では、教科書会社から出されているものを参考としながら作っているのが実態だと思います。砂川市の義務教育学校の小中一貫教育の目指す姿、要するに、どのような資質・能力を養っていく必要があるのかというものに基づいた年間指導計画にしなければいけないと思います。また、学びに向かう力を育成することも求められていますので、各学校に割り振りをしたところで、温度差が出てこないかが心配なので、小中一貫教育の目指す姿、目指す資質・能力を明確にした上で年間指導計画を作成するスケジュールが良いと思います。学校によって、教科書会社を参考にしながら作ってしまうので、それは、良くないと思います。特に、小中一貫教育を推進していくことと、砂川市の目指す子ども像を明らかにした資質・能力を具体的にどのように育成していくかを今年度進めていくのであれば、なおさら、そういう年間指導計画でなければいけないと思っていますので、各小学校にしっかりと情報共有ができるような仕組みを作らなければいけないと思います。
- 事務局 今回明確にする「育成を目指す資質・能力」が育まれるような教育計画を作っていくのが本来の形であり、目指すものだと思います。先ほど説明した議案の4ページには、目指す資質・能力について、10月に砂川小学校、砂川中学校の皆さんから意見を聞き、12月から2月の本委員会において協議して決めていくスケジュールとなっており、また、作成に係わっては、冬季休業中、12月から具体的な作成が始まることとなりますので、作成と目指す資質・能力案の決定の時期をしっかりと踏まえて各校で作成できるようなスケジュール感で取り組みを進めていきたい

と思います。また、小学校教育課程部会の皆さんを通して、各小学校の先生に作成に向けての説明等をしてもらうことになると思うのですが、小学校教育課程部会の委員には、今回の教育計画を作ることによって「砂川市では、こういう力をつけていくことを目指した内容にしてください」ということをしっかりとお伝えして、学校に浸透させていきたいと思います。また、今回できたものは、完全なものではないと思いますので、令和6年度、令和7年度で今回作ったものをブラッシュアップしながら開校時により精度が高い教育計画に練り上げたいと考えています。

副会長 そのほか、質問や意見などありませんか。

委員 今年度、小学校教育課程部会が主体となって、小学校の教育課程を検討していくというお話でしたが、今後、検討することになる中学校の教科書は、どのような見通しがあるのか教えてください。

事務局 本市では、小中一貫教育を推進していますので、本当の理想を言えば、中学校の教科書が変わるときにも小学校の先生も教育計画の作成に携われる知識やスキルを身に付けているというのが望ましいところだとは思いますが、現状として、中学校の教科書を読み込みながら、「育成を目指す資質・能力」に繋がるような教育計画を作っていくのは、小学校の先生にお願いするのは難しいと思うので、作成に係わっては、中学校が主体になるイメージはありますが、小学校の先生も「どのように小学校の学習から中学校の学習に繋がるのか」を理解できるように、次年度の部会の中で理解を深めることをしていきたいと考えています。

副会長 そのほか、質問や意見などありませんか。
それでは、説明のとおり年間指導計画の作成を進めていただきますようお願いいたします。

7. その他

- ・学校運営で整理すべき課題の作成
- ・砂川市義務教育学校建設基本設計書（案）教職員説明会の開催

【議事の内容（要旨）】

事務局

- ・学校運営で整理すべき課題の作成

「目指す姿」が明らかとされた後、「育成を目指す資質・能力」を高めるための様々な教育活動の内容の詳細を詰めていく作業に入ります。そこで、現段階で考えられる事柄を整理し、本委員会でも共有したいと考えます。思いつくものを羅列させていただきましたが、次年度、これらについて検討したり、作成したりする主体となる部会を新たに再編するなどしながら準備を進めてまいりたいと考えています。7ページは、組織に関することから学習指導に関すること、8ページは、研究推進に係ることから学校事務に関することまで、例えば、行事1つでも1年生から9

年生まで、どの区切りで行う、場所はどするなど詳細を詰めていく必要が出てきます。なお、記載したものの中で、今年度の部会を通してすぐに作成に着手できそうなものは、前倒しをしながら作成を進めてまいりたいと考えています。あくまで、ここに書いてあることは、来年度手をつけるということではなく、今年度から現行の部会の中で検討・作成できるものは、どんどん作業を進めていきたいと考えています。また、準備に関して、記載から漏れているものも多々あるかと思しますので、そのことについては委員の皆さんからも意見をいただければと存じます。

副会長 ただいまの説明に対して、質問や意見などありませんか。

委員 学校行事に係わることで、修学旅行についてですが、中学生は9年生で行くと思うのですが、学年の区切りは4・3・2になっているので、従来通り6年生で行くのが良いのかなど決めなければなりません。また、人数が1学年80人くらいと多くなるため、旅行業者や行程、ホテルの確保など、早めに決めなければいけないと思います。また、経費も学校によって違うと思うので、保護者に、どの程度負担してもらおうのかも出来るだけ早めに情報提供しなければいけないと思うので、この件については、早急に対応していただければと思います。

事務局 そのようなことも含めて、会議等の場で意見をいただき、事務局でも検討準備を進めていきたいと思います。

副会長 そのほか、質問や意見などありませんか。
それでは、今後も何かお気づきのことがありましたら、事務局にお伝えいただきますようお願いします。

事務局 ・砂川市義務教育学校建設基本設計書（案）教職員説明会の開催
教職員を対象とした基本設計の説明会を開催します。趣旨としては、現在、パブリックコメントで市民から意見を募っている最中でして、教職員にとっても、設計担当者と直接意見交換して理解を深めることは、今後の取り組みにおいても意義あることと考えて開催するものです。内容は、設計書を見るだけでなく、VR動画ですとか模型もありますので、より具体的なイメージを持っていただければと思っています。

副会長 ただいまの説明に対して、質問や意見などありませんか。
それでは次回の日程ですが、各部会の取り組み状況や学校行事等を考慮しながら、後日、事務局からお知らせします。
以上をもちまして、第2回小中一貫教育推進委員会を閉会します。皆さん、大変お疲れ様でした。

以 上